

テーマ

ケイタイを活かし、より快適な生活を
高齢者の方へ提案します

テーマ設定の理由

今ケイタイがとても普及している中でケイタイを使える人、使えない人の差が激しくなっています。ケイタイは便利なものだからぜひ高齢者の方に使ってもらいたいけど、実際使っているのは若い人達で、高齢者で使っている方は少ないというのが現状です。だから、高齢者の方にケイタイを使ってもらうために、私達中学生の視点から提案したいと思い、このテーマにしました。

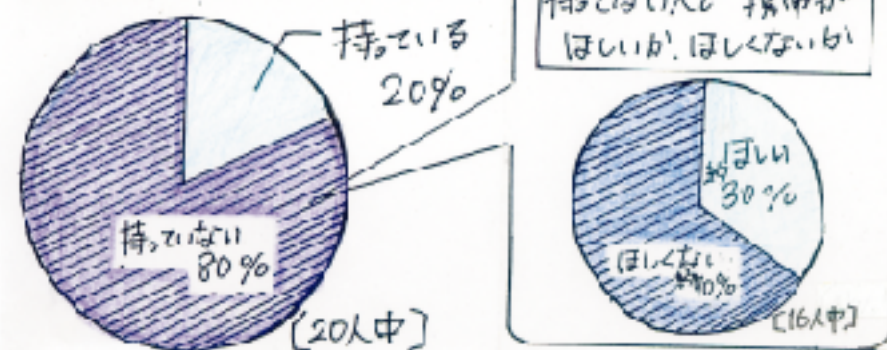
根拠

前に書いたように、なぜ「高齢者の方はケイタイを利用しないのか、その現状を調べてみました。

① 街頭インタビュー

〔2002年5/10~6/1の間、附属中近くの弘明寺商店街でケイタイについて60~80の方20人にインタビュー〕

携帯電話・PHSを持つ人の割合



このように高齢者の方に実際にインタビューしてみるとケイタイを持っていない方が圧倒的に多く今後も欲しいとは思わない、という方が7~8割いました。それは多分私たちのような若い世代向けのケイタイばかり普及していて、使い方もどんどん難しくなるので、高齢者の方に受け入れてもらうのが難しいのだと思います。

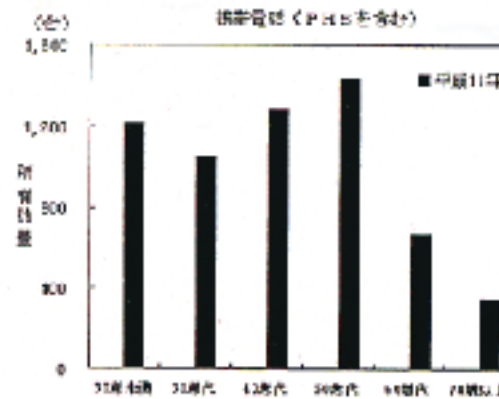
なぜ欲しくないのか?

- NO.1 必要ない 機会がない
- NO.2 FAX・普通の電話で 充分だと思う
- NO.3 抵抗がある(難しそう)
- NO.4 目が悪いから 見にくい
- NO.5 マナーに違反する (電車など)

持っている方の使い道は、やっぱりメールは難しいので通話のみという方がほとんどでした。サイトも使っていない方が多いようです。

② 全国的に見て

年代別 携帯電話所持率<総務省>



今のケイタイはインターネット、メールも何でもできます。上のグラフを見ると、60~70歳以上の方の所持率がとても低く、20~50歳の方との情報通信方法に差が出ていると思われま。このままではケイタイはさまざまな年代の方に使われなくなってしまうと思います。

③ 地域ケイタイプラザに行って



不老町地域ケイタイプラザ訪問
(責任者の方にインタビュー)

私たちは責任者の方に今、さまざまな安心サービス(ココロ・みまもソフットラインなど)が、それらは普及しているのか聞いてみたところ、そのようなケイタイを使ったサービスはあまり普及していないそうです。高齢者の方が「自分とは無縁」と思っているそうなので、ケイタイのイメージを変えていく必要があると思います。

結論

~私たちからの提案~

高齢者の方へ

こんないいことがあります!

- ・緊急時にすぐ連絡をとれる
- ・お孫さんとのコミュニケーションもより身近になる
- ・インターネットができるので、生活や趣味が豊かになる

ケイタイは安心の第一歩!
ケイタイで充実したシニアライフを!

企業の方へ → 高齢者向けケイタイが発売されていますが、高齢者の方にはまだ難しいイメージがあるようです。高齢者の方が抵抗なく使えるようにするために高齢者の方の声を聞くようにすれば、もっと普及するはずです。



▲ドコモから発売されている高齢者向けケイタイ「らくらくホン」。大きな文字表示、メールや操作説明などを音声で読み上げる機能などが特徴。